

と おかまち

Public Relations

市報

2013
6/10

平成25年 6月10日号

No.197

特集 中心市街地の活性化への取り組み

(2～5ページ)

み～んなの笑顔があふれる 「まちなか」を目指して

中心市街地を散歩する金沢美千子さん(土市3・62歳)と孫の虎次郎くん(2歳)。石像を見て笑顔がこぼれます。市では、住む人も訪れる人も笑顔になれる「まちなかのにぎわいづくり」に取り組んでいます。

主な内容

ピックアップニュース

- 6 ●自治基本条例
- 7 ●十日町市結婚促進事業
- 8 ●平成26年度採用の十日町市職員の募集
- 10 ●十日町市地域福祉計画(第2次計画期間)策定

連載コーナー①

- 11 昭和のとおかまち/元気予報

タウンピックス

連載コーナー②

- 14 若者×若者 キラメキワーカーズ

お知らせ・ガイド

連載コーナー③

- 20 このとき熱中・夢中/和顔愛語/イクメンカジダン
- 22 ジュニア芸術祭

「新たなにぎわい」に満ちた 「魅力あるまち」の創造を目指して

～“安心・快適・ときめき”のまちづくり～

市では、現在、中心市街地の活性化に取り組んでいます。5月中旬に国に基本計画の認定申請を行い、現在はその結果を待っている状況ですが、認定を受けるといよいよ本格的にさまざまな事業が展開されます。本号では、本格的な始動を前に、「今、この事業を進める必要性」を市民の対談を通じて見いただきます。

■問合せ：中心市街地活性化推進室 ☎757-3691



③ 打ち合わせに熱が入ります

②

なぜやるの？

どうすれば市全体が元気になるの？

だれがやるの？

本音トーク 未来志向トーク

まちなかの「新たなにぎわい」を、 十日町市の元気へ

まちなかの「新たなにぎわい」を創るうえで「まちなかの役割や可能性」「周辺部とまちなか」などについて、中心市街地に関わっている皆さんが、それぞれの思いやアイデアを自由に語り合いました。

第1章 まちなかの現状、十日町市の現状

市街地に危機感。元気がうちに行動を！

庭野さん—中心市街地は、最近歩いている店が少なくなっています。今は輝いている店も、このままの状態が続くと将来的には厳しい状況になることが予想されます。最近では、商店や市民にもそういった危機感が出てきたような気がします。

一方で、若い人で出店などに意欲のある人はいますが、家賃が高いことが課題という声も聞いています。



まちなかでも周辺部でも子どもの声が届かない

服部さん—滝沢さんは本町2丁目でお店をしていて、私の家は本町1丁目のお寺ですが、子どもの声を聞きませんよね。昔は、お寺などが子どもの遊び場となり、近所の人が親代わりになるなど、地域の中で子育てしていたと聞いています。今では、子どもが遊ぶ風景が見られなくなりました。

俵山さん—私は六箇地区に住んでいます。山間地でも同じことが言えます。山間地は子どもがいないう、まちなかは子どもが遊ばない。子どもの声が聞かれなくなりました。これは共通点だと思います。私たちの活動の目標は多世代交流です。まちなかでも山間地でも、おじいちゃんやおばあちゃん・近所の人。そして地域のつながりが生まれてくることを目指しています。

阿部さん—バブル期を知っている世代は「あの頃に戻りたい」という考えから、家賃に対しても昔の感覚を持っていると思います。でも、若い世代の感覚は違いますよね。

庭野さん—私たちは、意欲のある人たちの思いを実現させるための商店街でありたいです。

阿部さん—他市の、シャッター通りが広がり衰退している商店街と比べて、十日町市の商店街はまだ元気があって感じています。今のうちに行動を起こさないといいけません。そういった意味でも、地域がより強い危機感を持つ必要があります。

滝沢さん—私は、子どもが生まれてから将来のまちに危機感を持つようになりました。今から動くことで、子どももお年寄りも楽しいまちに変われると思って活動しています。

第2章 まちなかの元気を市全体の元気につなげる

まちなかの元気を全体の元気へ、そのための議論をしっかりと

山岸—これまで中心市街地の活性化

化は商店街が中心となって行っていました。しかし実は、住んでいる人や利用する人などさまざまな人材がいてこそ、中心市街地

解説 中心市街地の現状

十日町駅を中心とした中心市街地（まちなか）は、JR線・ほくほく線、国道117号が通り、バスとの乗り継ぎ拠点となるなど、交通網の結節点となっています。

また、商業や事業所、医療・教育施設などが集積してきて、古くから十日町市の「顔」として機能してきました。しかし近年では、人口減少や少子高齢化に加え、社会の進展に伴う都市機能の郊外展開による商業機能の低下、空き地や遊休地の増加など、取り巻く環境はとてつもなく厳しくなっています。

解説 持続可能なまちづくりのために

中心市街地に「暮らす人を増やす」「訪れる人を増やす」「活動する人を増やす」ことで、まず「市の顔」や「拠り所」としての活力を取り戻します。これには、まちなかへの民間投資が誘発されることも欠かせません。そして、その効果を市全体に波及させていくことで「選ばれて住み継がれる十日町市」を創り出していきます。

対談者の紹介



当会は、商店街の活性化策の推進やアーケードなどの整備(①)をはじめ、アーケード内の「花いっぱい運動(②)」や、まちなかのイベントへの協力などを行っています。

十日町市商店街振興組合連合会 理事長
庭野 茂美さん

建築士の職能やデザイン思考を生かしたまちづくり活動をしています。まちなか魅力発見活動(③)や、高齢化集落の課題を解決するため、小白倉の廃校を利用した施設の再活用に、地域の皆さんと取り組んでいます。

スタジオ えちご 「studio*H5」代表
阿部 正義さん



中心市街地活性化のこれまでの主な取り組み

平成22年12月17日 十日町市中心市街地活性化基本計画策定委員会設置（市の推進体制整備）

平成23年2月1日 中心市街地の活性化を考える市民シンポジウム

2月25日～3月10日 十日町市中心市街地活性化に関する市民アンケート調査

4月26日～6月5日 十日町市中心市街地活性化基本計画策定事業検討ワーキング（計5回）

9月22日 十日町市中心市街地活性化基本計画「第1次骨子」公表

10月30日 中心市街地活性化市民シンポジウム

平成24年5月14日 中心市街地活性化シンポジウム「にぎわい創出@まちなか」

5月29日・30日 十日町市中心市街地活性化基本計画への登載を目指し、市と協議を行う2事業者を選定

7月26日 十日町市中心市街地活性化基本計画「素案」公表

8月22日 「NPO法人にぎわい」を十日町市中心市街地整備推進機構として指定

9月1日 十日町商工会議所とNPO法人にぎわいが中心となり、十日町市中心市街地活性化協議会を設立

平成25年3月7日～26日 「十日町市中心市街地活性化基本計画」に対するパブリックコメントを実施

3月28日 十日町市中心市街地活性化協議会から「十日町市中心市街地活性化基本計画（案）に対する意見書」が提出される

5月17日 「十日町市中心市街地活性化基本計画」の認定を国へ申請

経済産業省から十日町市に出向して4年目になります。昨年4月から中心市街地の活性化の担当部長として、市民の皆さんと話し合ったり、国に十日町市の現状を説明したりしています。



産業観光部 部長
山岸 航（中心市街地活性化担当）

市街地の人に「我が家の畑で採れました」「近くの山で採れました」と料理を出すことも喜ばれます。売り手が説明できることが魅力なのかとも思います。山間地で採れたものをまちなかの人が買ってもらうなど、「食」を通じてお互いの存在の必要性を感じるのではないのでしょうか。

服部さん—先日、松代の蒲生集落で田植えをしました。私は市外から嫁いだので、田植えをするだけでもワクワクします。まちなかの子どもたちも、そういった場所に集まるだけで楽しそうです。

庭野さん—まちなかの空き地で花の種まきをして、育った苗を商店街に飾るようなことができないか

考えています。それを周辺部の皆さんといっしょに取り組みのおもしろいですね。

俵山さんや服部さんが言うように、資源は周辺部の方がたくさん持っています。中心市街地だけにぎわいが生まれるのではなく、周辺部の魅力があつて中心市街地が成り立っているとも言えます。

滝沢さん—皆さんのように、思いを持っていてる人材はたくさんいるはずですよ。そういった人たちをつなげるきっかけづくりをしたいです。ぜひ「にぎわいセッション」に参加してほしいです。

全員—滝沢さん、うまくまとめましたね（笑）

対談を通じて、中心市街地を市全体の元気につなげる方向性やアイデアの声をもらいました。市報では、今後、中心市街地の活性化の取り組みを定期的に紹介していく予定です。



事務所での打ち合わせ風景



を活性化できる可能性があることに、国も私たち自治体も気付きました。

中心市街地活性化の取り組みは、中心市街地だけを元気にするものではありません。周辺部も含め市全体が元気になるために、中心市街地がどうあるべきか考えることが大切です。

庭野さん—コンパクトシティという言葉のとおり、駅やバス停・家から歩いて行ける距離に必要な機能が揃っていることが本来のまちなかのなと思います。

阿部さん—人口も経済規模も縮小していく時代です。いたる所にさまざまな機能を備えるわけにはいきません。限られた資源の中で、それぞれの地域で守るべきこと、区切りをつけて集約することの議論をしっかりとっていくべきですね。

まちなかは市民のためのツールボックス

阿部さん—まちなかが市民にとって便利なツールボックスであることや、夢のある場所になることが必要だと思えます。例えば、屋台村のようなものを用意して、起業意欲を持った若い人へ、自分の力

で挑戦できるチャレンジショップ的に貸す。そうすれば、若者の夢をまちなかで叶えることができます。

俵山さん—夢といえば、高校生が「こんなことをしたい」ということを実現できるとおもしろいですね。若い人が結果を気にせず「まちなかで何かした」という体験ができること、将来十日町市に戻ってくる可能性も高くなると思います。

滝沢さん—都会だと埋もれることも、十日町市なら目立つことができると思います。「にぎわいセッション」などを通じて、周辺に住んでいる人から「まちなかを使いたい」という声も聞いています。

山岸—中心市街地は市の玄関口・顔・地域のショーケースとして、訪れた人へ十日町市のイメージを表現する情報発信機能を持っています。ツールボックスの機能を生かして元気な十日町市を見せられたいですね。

まちなかと周辺部をつなぐキーワードは食・農・景観

俵山さん—まちなかと山間地をつなぐキーワードは「食」だと思います。家族で経営している旅館で、



「日本一楽しいまちをつくらう！」という目標を掲げて活動しています。まちなかで活動している人を集めた交流会「にぎわいセッション（⑥）」などを開催しています。

NPO法人にぎわい副理事長
滝沢 梢さん

それぞれの家であるお寺と旅館を使って、月一回のお茶会（④）など、子育て世代が集う活動をしています。5月には「衣替え市」というフリーマーケット（⑤）を行いました。

子育てサークル「わらべっこ」主宰
俵山 昇子さん・服部 昌子さん



あなたの結婚のための“出会い”サポートします

●問合せ：企画政策課協働推進係 ☎757-3693

出会いから 全てが 始まります

かつては「お見合い結婚」が多くありましたが、最近では9割以上が恋愛での結婚です(国の調査による)。つまり、「結婚」するためには、「恋愛」のきっかけとなる「出会い」も必要です。市では年に数回「出会いの場」を提供するイベントや結婚相談員によるサポート、情報メール配信サービスを行っています。結婚をまだ考えていないという人にとっても、普段の生活の中では知り合えない人との出会いは「自分磨き」になります。まずは一歩、踏み出してみませんか。

①メール配信サービス 登録者募集中！

独身者の結婚活動をサポートする「とおかまちハッピー婚シェルジュ」事業の一環として、情報メール配信サービスを行っています。登録会員には、広域的な出会いイベント情報が届けられるほか、観光情報なども配信されます。出会いの場を求めている人も、少しでも興味があるという人も、まずは登録してみませんか。

- 対象者＝20歳以上の独身者 ※市内外問いません
- 配信情報＝出会いイベント情報・観光情報など
- 利用料＝無料 ※通信費は利用者負担です
- 登録方法

- ①hapicon3@rakume.jpへ空メールを送信。
※携帯電話からはQRコードで簡単に登録できます
- ②登録用のメールが届くので、本文内にリンクされている「利用規約」を確認の上、専用フォームから登録してください。
※登録した個人情報は本サービスの目的以外には使用しません。また、登録情報がほかの会員や外部に漏れることはありません



QRコード



②結婚相談員に 相談してください

市からの委嘱を受けた7人の結婚相談員が、独身者の結婚に関するサポートを行っています。結婚に関する相談・アドバイス以外にも、出会いの場や、お似合いのお相手の紹介も可能です。まずは気軽に相談してください。

■結婚相談員を紹介します

相談員の住所（地区）に関わりなく誰にでも気軽に相談できます。

氏名	連絡先	住所（地区）
野上 信子	☎757-8995	十日町
高橋四美男	☎752-3281	中条
吉沢 利子	☎757-1730	吉田
藤巻 洋子	☎755-2273	下条
井口 敬子	☎758-3058	水沢
井川 和子	☎768-2181	川西
関谷 初子	☎597-3609	松代

※川治・中里・松之山地区は、現在人選中です



●出会いの場・結婚促進のためにイベントを企画・運営する団体を募集します。詳しくは17ページをご覧ください。

市民の“まちづくり”に欠かせない視点が盛り込まれています

●問合せ：企画政策課協働推進係 ☎757-3693



市報4月25日号では、「とおかまち流まちづくりの条例を考える会」から3月末に提出された「十日町市まちづくり基本条例」素案のポイントについてお知らせしました。今回は、素案に盛り込まれているまちづくりを進めるうえで、市（市民・市議会・行政）全体で共有したい考え方を紹介します。

歴史と伝統の継承

地域の歴史や伝統・文化は、ここで暮らす人々が築き上げてきたかけがえのない財産です。子どもや孫たちに学校教育や地域活動などを通じてふるさとへの愛着を育み、歴史や伝統の継承に取り組むことを求めています。

雪との共生

毎冬、この地を白く覆う雪は、十日町市の特徴の一つです。雪が降り積もる季節でも安心していきいきと暮らせるよう、道路除雪や高齢化集落への支援をするなど、雪に強いまちづくりに取り組むことを求めています。

一方で、雪は貴重な資源でもあります。田畑を潤す水資源となるほか、観光資源でもあることから、雪を生かし、その価値を高めるようなまちづくりに取り組むことも求めています。

まちづくりとは

住み良い十日町市の実現のために、団体や地域、市民一人ひとりが行うさまざまな活動のことです。行政の施策もまちづくりです。

やさしさと支え合いを育む

誰もが生きがいを持って健康やかに暮らせる環境の整備に努めることを求めています。また、子育てや教育の観点から、次代を担う子どもたちの健やかな成長のために、地域の特色を生かした子育て環境の整備に努めることも求めています。

産業振興と観光交流

十日町市に活力を生み出すために、観光交流による人の流れや、雇用の場を確保することによる定住人口の増加につながるまちづくりへの取り組みを求めています。そのために、地域の魅力を積極的に発信する取り組みを求めています。

地域循環型社会の構築

美しい里山の景観や棚田、水資源や森林資源など、自然環境に恵まれた十日町市だからこそ、これらの資源をさまざまな分野で活用することができます。エネルギーや食糧にも目を向け、「地域のもものは地域で賄い消費する」ことを共有し、保全と活用の調和を図りながら地域循環型社会の構築に取り組むことを求めています。

素案には、20年後、30年後の十日町市を見据えた考えが盛り込まれています。考える会では、素案に示すまちづくりが条例制定後に具体的な施策となつて実現することを期待しています。

※条例素案は、市ホームページで閲覧できるほか、本庁・各支所・情報館・公民館にも備え付けてあります

市報とおかまち 平成25年6月10日号

平成26年度採用の十日町市職員の募集

やる気と情熱あふれる若者の応募をお待ちしています

●問合せ：総務課人事係 ☎757-9787

平成26年4月1日採用の十日町市職員を募集します。「十日町市をより良いまちにしたい」「市民のためにがんばりたい」など、熱意ある皆さんの応募をお待ちしています。



募集職種

- ◇一般事務上級
- ◇土木上級
- ◇保健師
- ◇保育士

全職種共通

試験方法・日程

- 【第1次試験：筆記試験】
- 期日＝7月28日(日)
- 会場＝千手中央コミュニティセンター
- 【第2次試験：面接試験】
- 期日＝8月下旬予定(会場などの詳細は、1次試験合格者に直接通知)

採用日

平成26年4月1日

申込み

6月10日(月)～28日(金)(土・日曜日、祝日を除く)までの午前8時30分～午後5時15分に、必要書類を総務課人事係に提出(持参する場合は本人以外でも可、郵送可※6月28日(金)までの消印有効)

※80円切手を貼付し、送付先住所・氏名を記入した封筒(長形3号)2通を必要書類といっしょに提出してください
※申込書類は返却しません

一般事務上級

- 募集職種・人数・受験資格
一般事務上級 若干名
昭和59年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業した人または平成26年3月31日までに卒業見込みの人
- 必要書類
①職員採用試験申込書(人事係に配置、市ホームページにも掲載)
②成績証明書(最終卒業学校のもの。来春卒業見込み者は最近までのもの)
③卒業証明書(卒業見込み者は卒業見込証明書)
- 試験科目
教養試験・作文・適性検査
- 給与(初任給)
172,200円(新卒者の場合。職歴により異なります。給料改定などで増減する場合があります)

土木上級

- 募集職種・人数・受験資格
土木上級 若干名
昭和54年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学(短期大学を除く)の土木専門課程を卒業した人または平成26年3月31日までに卒業見込みの人
- 必要書類
①職員採用試験申込書(人事係に配置、市ホームページにも掲載)
②成績証明書(最終卒業学校のもの。来春卒業見込み者は最近までのもの)
③卒業証明書(卒業見込み者は卒業見込証明書)
- 試験科目
教養試験・専門試験・作文・適性検査
- 給与(初任給)
172,200円(新卒者の場合。職歴により異なります。給料改定などで増減する場合があります)

保健師

- 募集職種・人数・受験資格
保健師 若干名
昭和59年4月2日以降に生まれた人で、保健師免許を有する人、または平成26年に行われる保健師国家試験で免許取得見込みの人
- 必要書類
①職員採用試験申込書(人事係に配置、市ホームページにも掲載)
②成績証明書(最終卒業学校のもの。来春卒業見込み者は最近までのもの)
③卒業証明書(卒業見込み者は卒業見込証明書)
- ④保健師免許の写し(取得見込み者を除く)
- 試験科目
教養試験・専門試験・作文・適性検査
- 給与(初任給)
172,200円(新卒者の場合。職歴により異なります。給料改定などで増減する場合があります)

保育士

- 募集職種・人数・受験資格
保育士 若干名
昭和59年4月2日以降に生まれた人で、保育士と幼稚園教諭免許の両方を有する人、または平成26年3月31日までに取得見込みの人
- 必要書類
①職員採用試験申込書(人事係に配置、市ホームページにも掲載)
②成績証明書(最終卒業学校のもの。来春卒業見込み者は最近までのもの)
③保育士登録証の写し、または保育士資格証明書の写し(取得見込み者は資格取得見込証明書)
- ④幼稚園教諭免許の写し(取得見込み者は取得見込証明書)
- 試験科目
教養試験・専門試験・作文・適性検査
- 給与(初任給)
152,800円(新卒者の場合。職歴により異なります。給料改定などで増減する場合があります)



本山 実里さん(松之山・24歳)

■税務課

「ふるさと十日町市」で働きたくて受験しました。仕事は容易ではありませんが、窓口に来られる市民の皆さんへの対応にやりがいを感じています。早くきちんと仕事を覚えて、頼りになる職員になりたいです。



小川 達也さん(千代田町・25歳)

■建設課

業務柄、外に出て業者の皆さんや地元の方々と接する機会が多く、毎日やりがいを感じながら仕事をしています。まだ不慣れな点が多いですが、信頼してもらえる技術者になれるよう日々がんばっています。

先輩職員からの声

十日町市地域福祉計画（第2次計画期間）策定

安心して心豊かに暮らせるまちを目指して 支え合いましょう

●問合せ：福祉課高齢福祉係 ☎757-9758

市地域福祉計画とは

本計画は、「人にやさしいまちづくり」を地域で推進していくための理念や目標を定めたものです。平成20年度に市として初めて策定しました。

なぜ見直すの

計画策定から5年が経過した現在、少子高齢化がさらに進行するなど、現状が大きく変化しています。この変化を受けて、計画を見直し、平成25年度から29年度を期間とする第2次計画を策定しました。

これからどのように実施するの

今後は、地域住民と密接な関係を持つ社会福祉協議会や地域自治組織などと連携・協力しながら、計画の実現に向けて取り組みます。

昭和のおまち

No.51

■撮影時期：昭和42年
■撮影場所：旧中里村立田沢中学校（上山）

当時の旧中里村立田沢中学校は、職員数が18人、学級数は10組、生徒数は401人でした。現在は、中里地域で1校に統合され、中里中学校となっています。閉校後も体育館は地域の体育活動の拠点として利用されていましたが、昨年建設から50年が経過し、老朽化が進んだことから解体されました。跡地には、今年12月の完成に向けて新しい体育館を建設中です。この場所は昔もこれからも思い出に刻まれるところです。



旧田沢中学校校舎

■問合せ：中里支所地域振興課 ☎763-2511

十日町市地域福祉計画が目指す地域像
ともに支え合い みんなが安心して心豊かに暮らせる まちづくりを目指して



こころをつなぐ地域づくり
まずは知り合うことから

声掛けや見守りなど、日常的な助け合いの活動を広めましょう。災害時には、手助けを必要とする人への支援を心がけましょう。

楽しく暮らせる地域づくり
みんなにやさしく

安心して暮らせる地域づくり
ともに助け合う

NPO法人の活動やボランティア活動、地域行事などの地域活動に参加し、地域の中で積極的につながるの輪を広げましょう。

健康づくりや生きがいづくりの活動に参加しましょう。地域住民同士の日常的な交流を推進しましょう。

- | | | |
|-------|---------------|----------|
| 企業・商店 | 地域住民 | ボランティア |
| 民間事業者 | 福祉関連団体 | 老人クラブ |
| NPO法人 | 町内会・集落、自主防災組織 | 地域自治組織 |
| 農協・生協 | 社会福祉協議会 | 民生委員児童委員 |
| 警察・消防 | 行政 | |

※計画書は、本庁・各支所・各公民館・情報館に配置したほか、市ホームページでも見ることができます



問合せ 健康支援課成人保健係 TEL757-9764

朝食はとっても大事

6月は「食育月間」です。今回は朝食の重要性について紹介します。

朝食はなぜ大切なのでしょう

人間の体温は、起床してすぐに計測した体温（基礎体温）が1日の中で一番低く、昼間には体温を上げて、脳や体を動きやすくします。

体温を上げるためには、エネルギーが必要であり、朝食は大切な役割を果たしています。

脳にもエネルギーを補給しましょう

脳は、眠っているときもエネルギーを消費しているため、起床時はエネルギー不足の状態になって

肥満を招く朝食欠食

朝食を食べない人は、肥満になりやすいとの傾向が、学童期から青年期の人を対象とした調査で明らかになっています。朝食を摂らないと、食事のリズムが崩れ、まとまった食事を遅い時間に摂るようになります。そのことが肥満の要因の一つと考えられています。

なお、お菓子や果物、乳製品などを食べただけでは、朝食を摂ったことにはなりません。バランスのとれた朝食を食べ、体温を上げ、脳にエネルギーを補給し、肥満を予防しましょう。

《健康とおかまち21重点目標》

毎日朝ごはんを食べる人の割合を高める

叙勲おめでとうございます



瑞宝小綬章

室岡 寛さん（四日町新田・73歳）

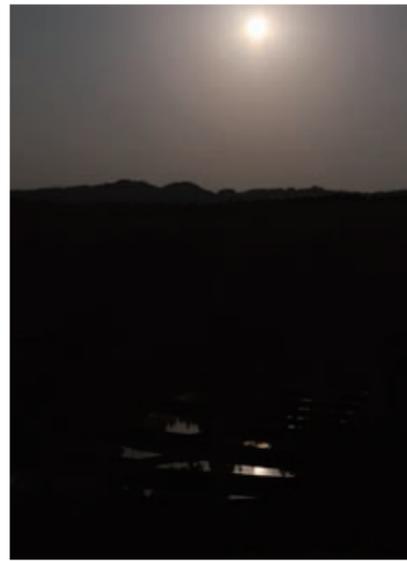
県立十日町病院長を13年務めるなど、長年にわたり地域医療に尽力した功績が認められました。室岡さんは、「職員の皆さんや県病院局の皆さんの助けがあってこそこの受賞です。患者の皆さんからも育てていただきました」と話していました。



田毎に映し出される月に歓声

5月26日(日)：三ツ山「田毎の月」見晴らし台

平成16年の中越大震災で観月道が崩壊し、実施ができなかった「田毎の月観月会」が昨年より再開されました。昨年は天候不順により観賞できませんでしたでしたが、今年の2日目は、雲のない夜空に月が浮かび上がり、次々と田んぼに映し出されました。約90人の参加者からは、その貴重な光景に歓声の声が上がりました。



全国重文民家の集い、星名邸に「生きる力を感じる」

5月25日(土)・26日(日)：国指定重要文化財・星名家住宅ほか

全国各地の国指定重要文化財の所有者など約60人が参加し、総会・研修会、十日町市博物館や星名家住宅の見学などが行われました。岡山県に国指定重要文化財の民家を所有している高草英郎さん（東京都在住）は、「広くて大きい造りに驚いた。生きるための力を感じる」と雪国ならではの建築に感心していました。

私がまだ若いころ福島深山で見つけたときは、尻の部分に硬い板のようなものが付着していました。後で知ったことですが、交尾したメスの体にオスが粘液を塗りつけ、それが固まり、二度と別のオスと接触しないようにするための、いわゆる貞操帯だそうです。



このような美しい春の女神も寿命ははかなく、カタクリの花が終わると同時に彼らも終わります。幼虫はカンアオ

ギフチョウ

妻が西潟昭平さんから美しいチョウの写真をもらいました。その写真には、コンクリの上で羽を広げている体型からメスと思われるギフチョウが写っていました。

十日町市の自然と春

この葉を食べて育ち、さなぎで越冬して早春にチョウになるそうです。

カンアオイはブナ林のような明るい林にのみ生える希少な多年草で、これを餌として育つギフチョウの数も多くありません。

このように珍しい写真を撮られた西潟さんは、ときおり珍しい発見をしては届けてくれます。今年は何を発見されることか楽しみです。（文・高橋八十八、写真・西潟昭平）

野鳥のさえずりを満喫

5月26日(日)：美人林周辺

野鳥の宝庫として広く知られている松之山で、「大探鳥会」が開催されました。早朝にもかかわらず県内外から約70人の参加がありました。松之山地域では、「探鳥会」を毎月1回開催しています。珍しい鳥に出会うこともありますので、早起きして野鳥観察に出かけませんか。



童心に返って

5月28日(火)：松代

埼玉県の榑郷前の社員26人が社員旅行で田植え体験に訪れました。ほとんどの社員が田植え作業は初体験でしたが、軍足を履いて田んぼに入り、田面につけた杵の跡に丁寧に苗を植えていました。ときおり、田んぼに生息するオタマジャクシやアメンボに驚いたり、泥に足を取られ転倒して体中が泥だらけになったりと、童心に返ったかのように楽しみながら田植えを体験していました。



市内に県内初のスポーツコミッション設立

5月29日(水)：クロステン

スポーツイベントや合宿などを誘致することで地域を活性化させる団体「十日町市スポーツコミッション」が、県内で初めて設立されました。体育協会や観光協会、旅館組合など8団体で構成されている同組織は、それぞれの情報を集約し、各得意分野を生かした誘客活動を行います。（写真は5月18日(土)・19日(日)市内で行われた合宿での田植え）



町名制定50周年を記念して

5月19日(日)：春日公園（春日町）

春日町は、昭和38年4月に制定され今年で50周年になりました。春日地区振興会では、記念事業として町内の憩いの場として利用されている春日公園の花壇整備などを行い、春日町がさらに発展することを願って、子どもからお年寄りまで総出で、色とりどりの花を植えていました。



西田尻の森に響く音色

5月25日(土)：西田尻八幡宮

杉の大木と地面を覆う苔が醸し出す静かな空間。中里地域では初めての試みとなる、神聖な雰囲気漂う神社境内でのコンサートが開催されました。このコンサートは、雪原カーニバルなかさがきっかけとなり、交流が生まれた指揮者の草川幸雄さんの「この地に音楽を届けたい」という気持ちにこたえようと、中里地域の人が中心となって企画運営しました。8月10日実施の「清津ピクニックコンサート」に向けて弾みがつく盛況ぶりでした。



「かまわぬ織り」ワークショップ 世界で一つの織物をつくろう!

横糸に繊維以外のモノを自由に織り込み、オリジナル作品を作ります。「織物」の楽しさを発見しませんか。

日 6月15日(土)・16日(日)・29日(土)・30日(日)午後3時～4時

会 越後妻有里山現代美術館 [キナーレ]

講 柳楽晃太郎さん

¥300円

問 「大地の芸術祭の里」総合案内所 (☎761-7767)

※同美術館では、この夏に「繊維・織物・衣服」をテーマにした企画展「大地を包む～繊維からの再考」や、柳楽さんによるパフォーマンス「ギョコンパタン～世界一の布を織る」を開催します。詳細は市報でお知らせします

催し・講座

募集

福祉・健康

子育て

スポーツ

くらし・相談

第3回
「十日町市身体障がい者福祉センターふれあい作品展」

催し・講座



～お知らせ・ガイド～

日 6月11日(火)～6月23日(日) 午前10時～午後5時
会 情報館
問 十日町市身体障がい者福祉センター (☎757-9438)
日 6月16日(日)午後2時～
会 市民会館
¥ 無料
内 映画音楽特集ほか
問 十日町高校吹奏楽部・三浦 (☎752-3575)

十日町高等学校吹奏楽部 第43回定期演奏会

魂が叫ぶ感動の104分 映画「うまれる」上映会

自分たちが生まれてきた意味や家族の絆、命の大切さ、「生きる」ということを考えるドキュメンタリー映画の上映会です。

日 6月22日(土)午前10時～、午後2時～、午後6時～
会 千手中央コミュニティセンター

¥ 大人1,000円(当日1,200円)、中学生以下および療育手帳を持っている人の付き添い人500円(当日800円) ※膝の上で鑑賞できる子どもおよび療育手帳を持っている人は無料

鑑賞券取扱所 中央公民館・情報館・千手中央コミュニティセンターほか

他 午後2時からの上映は託児あり(一人あたり500円、要予約)

問 十日町うまれる実行委員会 (☎090-6968-3110)

発掘体験参加者募集

笹山縄文カレッジ

みんなで掘る笹山遺跡2013

国宝出土の笹山遺跡で発掘をしてみませんか。学芸員が付き添いますので、解説を受けながら発掘できます。

日 ①7月13日(土)・14日(日)、②20日(土)・21日(日)、③27日(土)・28日(日)、④8月3日(土)・4日(日)、⑤10日(土)・11日(日)いずれも午前9時30分～午後3時30分(正午から1時間昼食) ※土・日曜日連続しての参加となります

会 笹山遺跡・笹山縄文館

対 小学5年生以上

定 各回15人

持 動きやすく汚れても良い服装・靴、帽子、筆記用具、昼食、飲み物

¥ 無料



他 研修未経験者からは研修(土曜日午前中)を受けてもらいます

☑ 6月28日(金)

申・問 希望日、氏名(全員分、代表者に○をつける)、代表者郵便番号・住所・電話番号を、電話・FAX・電子メール(museum.10@city.tokamachi.lg.jp)のいずれかで博物館(☎757-5531・F757-6998)



開発 彩子さん(下条上新田・27歳)

高校卒業後、一旦は東京都内に就職したが、地元に戻り今の会社に入社。8年目で、自動車のホーン製造を担当。

若者×若者

十日町市の仕事人

キラメキワーカーズ

語る 仕事・会社・十日町市への思い



丸山 直樹さん(中屋敷・34歳)

高校卒業後に就職して16年目。自動車部品の成形部門の班長として活躍中。

問合せ
産業政策課
☎757-3139

難しさを感じながらも、自信を持って仕事をしています

丸山さん―車好きが高じて、高校卒業と同時に今の会社に入社しました。現在は、プラスチックを金型で成形する部署に所属していて、その条件を設定しています。機械の状態などを考慮しながらの設定なので、幾通りものパターンがあり、日々違う条件となります。難しいですが、良い設定が出来たときはうれしいですし、自分の仕事には自信を持って取り組んでいます。

自社の製品を装着した自動車を見るとうれしいです

開発さん―私は、会社に入って8年目ですが、今の部署に就いて、1年少し経ちました。自分が作った製品を装着した自動車を見かけると気になりますし、やはりうれしくなりますね。

社内の良好な雰囲気づくり

開発さん―女性が多いので雰囲気は明るいですね。納涼会や忘年会など懇親を深める場もある

り、コミュニケーションを取っています。

丸山さん―ほかにも、社内全体で挨拶運動を実施するなど、良好な雰囲気づくりに努めています。

これからも製品の質を向上し、レベルアップしたい

丸山さん―開発さんの言うとおり、広く使ってもらえることに意義があるので、そのためには、個人としても会社としても現状維持ではなく常にレベルアップしていきたいです。

開発さん―個人的ですが、短期的な目標を積み重ねて、継続的に仕事を進めていきたいです。

協力企業

求人あり

宮本警報器(株) 十日町工場

・車載部品製造
・十日町市山谷
・従業員数113人
・☎757-0007



昭和48年に建設された十日町工場では、主に日産自動車の部品を製造しています。

第20回記念 チャリティー市民ゴルフ大会

日 7月13日(日)

会 十日町カントリークラブ

対 市内在住または勤務先を有する人

¥ メンバー10、800円、ビジター12、900円(チャリティー・パーティー費込み)

内 18ホールストロークプレー・ペリア方式

他 午後7時からレポート十日

参加者募集 小松原トレッキング

ワタスゲが広がる高層湿原を歩きませんか。

日 7月7日(日)午前8時30分～午後4時

会 小松原湿原※集合・解散場所 ヌーモールシヨッピンセンター

¥ 3,000円

定 先着30人

持 昼食・雨具・帽子

講 清津山の会

申 ・岡市観光協会中里事務所 (☎763-3168)

平成24年度豪雪・平成25年4月暴風による被災農家の資金繰り支援

対 平成24年度豪雪・平成25年4月暴風による市内の被災

対 小学生※中学生も可

¥ 10,000円(年会費)

他 テニスラケットは貸し出しできます

問 北井 (☎090-2242-1525)

町にて表彰式

× 6月24日(月)

申 ・岡十日町カントリークラブ (☎752-3515)

ジュニアテニス教室

小学生向けの教室です。楽しく始めてみませんか。見学も大歓迎です。

日 毎週(水)午後7時30分～9時、毎週(土)午後7時30分～9時30分

会 夏期(5月～10月) 市総合公園テニスコート、冬季(11月～4月) 市総合体育館

経営所得安定対策の申請手続きはお済みですか

米・大豆・そば・園芸作物など各種交付金が設けられています。申請期限(7月1日)が迫っていますので早めの手続きをしてください。

問 農業振興事務支援センター (JA十日町営農生活センター) 内 ☎761-7144

農林漁業者で「新潟県農林水産業振興資金(8号資金)」またはJA十日町の「平成25年豪雪災害等復旧支援資金」を借り入れた人

内 利子補給及び保証料補助※これにより借り入れ後5年間に限り、無利子・無保証料となります

● 貸付金利 新潟県農林水産業振興資金・2・35%、平成25年豪雪災害等復旧支援資金・1・60%

● 取扱金融機関 第四銀行・大光銀行・北越銀行十日町支店・十日町農業協同組合本店・塩沢信用組合・上越信用金庫松代支店

問 農林課農業企画係 (☎757-3120)

市環境共生活動事業補助金のお知らせ

川を楽しむ、川やその周辺をきれいにする団体を支援します

河川環境の維持向上活動や、調和・共生・親水のための地域づくり活動をするための経費を補助します。

対 ①河川美化など(河川環境の維持・向上活動)
②河川公園などの環境保全活動など(河川環境との調和・共生活動)
③河川を活用したイベントなど(河川の親水化活動)

補助金額：上限20万円(補助対象経費の2分の1)

他 団体の運営経費、施設設置・改修などのハード事業、食糧費、備品購入費などは対象になりません。

問 建設課信濃川・清津川対策係 (☎757-3198)



川の環境を利用した音楽イベント(清津川川っぺり音楽祭)

ミオンなかさと露天風呂の一時利用休止

日 6月30日(日)まで

内 施設外壁などの塗装工事のため、露天風呂(男女共に)の利用を休止します※工事全体は8月上旬まで

問 ミオンなかさと (☎763-4811)

【市報おわびと訂正】

市報5月25日号17ページ、「虫歯のないよい歯の子」で、小林菜央さんとなっていました。おわびして訂正します。

職員募集 (福)なかさと福祉会

【介護職員：臨時職員】

● 採用日=10月1日、平成26年1月1日・4月1日

● 人数=16人

● 資格・経験など=市内在住者で高卒以上※経験者・有資格者優遇

● 勤務形態=午前7時15分～午後7時30分内の変則8時間勤務※土・日曜日、祝日勤務あり

● 勤務先=特別養護老人ホーム七川荘、(仮称)地域密着型特別養護老人ホーム七川荘やすらぎ※平成26年度開所予定

● 賃金=基本給15万円～※年齢・経験年数による

● 社会保険=健康保険・厚生年金・雇用保険

【看護職員：正職員・臨時職員】

● 採用日：7月1日・10月1日

● 人数=3人

● 資格・経験など=看護師・准看護師※経験者優遇

● 勤務先=特別養護老人ホーム七川荘

● 賃金=基本給16万円～※年齢・経験年数による

● 勤務形態・社会保険・手当=介護職員と同じ

【共通】

● 選考日・方法=書類選考及び面接で随時

申 ハローワークを通じて履歴書を提出

問 (福)なかさと福祉会・村山(特別養護老人ホーム七川荘内) ☎763-2669

内 お酒売場での未成年者飲酒防止のため、スーパー・コンビニエンスストア・酒販店などでの防止表示状況などを確認し、税務署に連絡する

問 長岡税務署酒類指導官 (☎0258-35-8738)

十日町おやこ劇場・鑑賞会

日 6月29日(土)午後7時～

会 サンクロス十日町

内 マーガレット一家『たちっちゃんの紙芝居』

対 幼児・小学生※大人同伴で参加してください

¥ 1人あたり月額700円(年中以上、会費として) ※当日入会可、家族4人目から300円

問 丸山 (☎090-25488)

子育て

日 7月6日(土)午後2時～

会 中央公民館

¥ 300円

講 横瀬功さん(新潟市ひきこもり相談支援センター相談員・精神対話士)

問 フォルトネット代表・関口 (☎752-4306)

福祉・健康

講演会 「事例で学ぶ傾聴とひきこもりと自殺予防」

くぼたまさとツアーin十日町

工作名人のくぼたまさとさんがやってきます。くぼたまさとに会える機会は貴重ですので、お見逃しなく。

日 7月6日(土)幼児の部：午後2時～、小学生の部：午後7時～

会 千手中央コミュニティセンター

¥ 1,000円(当日1,200円) ※年少児以下無料

問 丸山 (☎090-25488)

「森の学校」

キョロロの館長になって、博物館の仕事に挑戦してみませんか。

日 8月8日(木)・22日(木)午前9時30分～午後2時

対 小学4～6年生

定 各回2人※応募者多数の場合は抽選

内 生き物の世話・イベント補助・受付補助・まとめなど

他 昼食は、キョロロの夏野菜カレーを用意します

× 7月15日(海の日)

会・申・問 「森の学校」キョロロ (☎595-8311)

キョロロ開館10周年事業第4弾

くぼたまさとツアーin十日町

スポーツ

第8回市長杯 パターゴルフ大会

日 7月6日(土)午前7時30分～

¥ 2,000円(プレー代・軽食代込み)

定 先着80人

× 7月2日(火)

会・申・問 参加費を添えてナカゴグリーンパーク (☎7

10507、春日 (☎090-4939-7967)

参加者募集

元気なお年寄りを紹介し、健康の秘けつなどをうかがいます。

わがん あいご 和顔愛語

～はつらつ おじいちゃん～

10



星名 仁作さん (上野・91歳)

「新聞や広報の気になる記事をいつでも探せるようにまとめて保管し、ひ孫と一緒に見るのが楽しみの1つです。」と話す仁作さん。現在の市報も広報かわにしも創刊号から保管してあります。元気の秘けつは積極的に歩くこと。普段の生活では、できるだけ徒歩とバスの利用で移動しています。

我が家の

我が家のイクメン☆カジダン募集中！家事育児に取り組んでいる写真と紹介文をお寄せください。申込み・問合せは企画政策課秘書広報係 ☎757-3112

イクメン☆カジダン

15

「イクメン」とは育児を楽しんでいるメンズ(男性)、「カジダン」とは家事に積極的な男性のことです。そんな我が家自慢のイクメン・カジダンを紹介します。

わが家の

パパ…中町優也さん (高山3・28歳)



仕事に行く前に息子を保育園に連れて行くのがパパの日課。仕事が忙しいパパですが、家事も手伝ってくれ、息子とも遊んでくれる我が家のスーパーマンです。(ママより)



わが家の

パパ…久末和樹さん (塚原町・28歳)

毎日保育園の送迎や家事に協力してくれて、感謝しています。パパと遊んでいるときの子どもの笑顔が、私の何よりの幸せです。いつもありがとう！(ママより)

あすのたね

▼私の地区の消防団は、今年度は十日町地区競技会に出場する年でした。6月2日が競技会ですので、今号が皆様のお手元に届くころにはすでに結果が出ていて、各地区から県大会に出場するチームも決まっています。

▼この競技会のために昨秋から練習を重ねてきました。地域を守る消防団としての役割を果たすため、目標を達成するためなど、さまざまな思いを抱きながら練習を重ねる出場選手の眼差しはいつも真剣そのもの。仕事でカメラを持つ機会が増えた私は、その軌跡を残すためにサポートする傍ら、画像や動画を撮り溜めました。長期間努力し続けた選手に少しでも喜んでもらえるよう、しばらくはそれらを使ったムービー制作を楽しむ夜が続きます。

▼気温が高くなってきてそろそろ日焼け、紫外線が気になる時期になってきました。紫外線が一番多いのはいつかご存知ですか？実は日差しが強い8月ではなく6月～7月だそうです。つまり今です。梅雨の時期で雨の日が多くなり紫外線対策を怠ってしまいがちですが、雨天でも12月の晴天の日と比べると同量～2倍弱の紫外線量が降り注いでいるそうです。

▼これから屋外のイベントが多くなる時期です。紫外線対策をして、十日町市の歳時記でイベントをチェックしながら出かけてみませんか。



(佐)



(齋)



このとき 熱中&夢中

市民活動ネットワークひとサボが、旬な人・団体を紹介します。

63

メンバーは30代から50代までの12人で、10月から毎月一回集まって準備を進めています。この日は、映画の趣旨をどのようにしたらしっかり伝えることができ、多くの人から見てもらえるかを検討しました。



手分けして市内各施設に向き、ポスターを貼ったり、チラシを配置したりして宣伝しています。



チラシもこだわって作成。「命ってどうして大切なんだろう？」という問いかけのキャッチフレーズから、本文の一つ一つの言葉まで、伝わる言葉を選んで作りました。

facebookページ <https://www.facebook.com/umarerutokamachi>

十日町うまれる実行委員会 それぞれの立場で「命」を感じてほしい

ドキュメンタリー映画「うまれる」を市内で上映しようと集まった「十日町うまれる実行委員会」。映画を通じて、家族の絆や命の大切さ、人のつながりを考えてもらうため、6月22日の上映に向け、準備を進めています。※映画上映の詳細は、15ページをご覧ください

◆問合せ…実行委員会 ☎090-6968-3110

「さまざまな視点から『命』を捉えている映画なので、順調に子育てしている人はもちろん、親子関係や妊娠・子育てで心に不安や痛みを持った人からも見てほしいです」と話す代表の服部昌子さん(本町1・35歳)と俵山昇子さん(二ツ屋・35歳)。

見たい・上映したいと思った人が、さまざまな場につながって、上映のための実行委員会が生まれました。「子育て支援の場などで活躍している人たちが集まっています。手探りでの準備ですが、各委員の経験が活かされています」と2人は振り返ります。

「私も子育てに不安があります。この映画を見て、子どもの存在に感謝する気持ちになりました」と服部さん。メンバーの皆さんは、「メンバー全員がそれぞれの思いを持って携わっています。どんな人でも、この映画を見ると、必ず何かしら感じる事ができると思っています。この映画を『命』を考えると思いつけにしたいです」と上映に思いを込めます。

活動を紹介したい団体を募集しています
ひとサボ ☎761-7444



ユニコーンに
のったよ!



鈴木 ^{いくた} 育太さん (1年)

ユニコーンのおうちまで、空をとんでいきます。帰りにユニコーンの子どもにたからばこをわたしてあげるお話です。



ハウルのしるこ



山田 ^{あおい} 葵さん (2年)

「ハウルのしるこ」をかきました。ソフィーがしるこにもどろうとしています。カルシファーと男の子もかきました。このお話は、おもしろいです。



ジュニア芸術祭

96

倉俣小学校



わたしのカレンダー



鈴木 ^{なつみ} 夏さん (3年)

おり紙を同じ形に切つてはるのが大変でした。でも上手に切れてきれいに作品ができました。



にじ色ボックス



竹藤 ^{ゆうた} 佑さん (4年)

作品を作る時に、ダンボールを切つて仕切りをつけたり、カラフルに色をつけたりするところをがんばりました。



完歩できた
ミオンウォーク



鈴木 ^{しんのすけ} 慎之介さん (5年)

ミオンウォークをしているところです。むずかしかったところは、服のようです。三角刀でほりました。橋を渡っているように表すのが大変でした。



ミシンで
エプロン作り



村山 ^{ちさき} 智咲さん (6年)

ミシンでエプロンを作っているところです。難しかったところは、手の部分です。どう彫るとぬっているように見えるか工夫して彫りました。